

令和五年  
11月号

# 太陽の都

# だより



発行所 ● 医療法人社団 博栄会 介護老人保健施設「太陽の都」 〒115-0051 東京都北区浮間 2-1-13 TEL03-3558-8881 FAX 03-3558-8831

責任者 鏡原

## 行事報告

### ☆敬老会

九月二十四日(日)午後より敬老会を開催いたしました。当施設の職員で結成している都バンドによる演奏と歌を披露させていただき、御利用者様も演奏に合わせて手拍子をしたり歌ったりと楽しまれました。また、演奏会後にビンゴ大会を行い、皆様ビンゴカードを手に数字を一生懸命に探して「あったー」と喜んで立ち上がる方もおられました。一等賞から三等賞まで豪華？な景品と参加賞は皆様に鹵ぶらシをプレゼントさせていただきました。その後のおやつ時に、皆様に職員手作りの写真付きの敬老会祝いカードを一緒にお渡ししました。隣同士で写真を見せ合いながら和気あいあいとした雰囲気でおやつを召し上がっていただきました。今後も御利用者様に喜んでいただけるような行事を開催していきたいと思っております。



また、一階テイルフロアには職員手作りの鶴と亀と金屏風の前の記念の写真撮影に利用者様の顔も綻んでいました

## 特集

### ●衣替え

「衣替え」は、十月一日を目安に夏服から冬服へ、六月一日を目安に冬服から夏服へと替える風習です。衣替えは、平安時代に中国から伝わった習わしで、宮中行事として、年に二回、衣を替えるようになりました。当初は「更衣(こうい)」といいましたが、「更衣」という言葉が女官の役職名に用いられるようになったため、「衣更え(衣替え)」と呼ばれるようになりました。江戸時代になると着物の種類が増え、気候に合わせて年に四回の衣替えが武家社会で定められ、庶民にも広がっていきました。やがて明治時代に洋服が取り入れられると、役人や軍人などが制服を着るようになり、暦も新暦に変わったため、夏服と冬服を年に二回替える



ようになりました。この衣替えの意識が学校や家庭にも浸透し、現在に至っています。今年は記録的な暑さが続き、いつもの衣替えの時期より少し遅めで良いのかな？

## 行事予定

来月十二月はクリスマス会の開催を予定しています。四年ぶりの開催になりますが、いまだにコロナ・インフルエンザの感染が続いておりますのでご家族参加はできません。規模も各階ごとでの開催を予定しています。

## 博栄会グループニュース

### インフルエンザワクチンのお知らせ

赤羽中央総合病院・浮間中央病院では、二〇二三年十月二日(月)よりインフルエンザの予防接種を行っております。

#### ◆受付時間

月～土  
午前九時～十一時三十分  
月～金  
午後二時～十六時三十分  
予約は不要です。

#### ◆料金

北区在住の七十二歳以上の方 無料(一人一回まで)

北区在住の六十五歳以上七十二歳未満の方  
二千五百円(一人一回まで)

一般(上記以外)の方 四千四百円(一回)

詳しい料金は窓口にお問い合わせください。

(受診当日はご本人様確認のため保険証を必ずお持ちください)

※ 北区在住の六十五歳以上(六十歳から六十五歳未満で心臓・腎臓・呼吸器の機能に重い障害のある方も対象です)

の方は二〇二四年一月三十一日迄は「高齢者インフルエンザ予防接種」の対象となります。

詳しくは北区保健センターのホームページをご覧ください。

(北区在住の六十五歳以上の方は事前に北区より予診票が送付されますので必ず持参下さい。

予診票が無い場合は一般の方の料金となりますのでご注意ください)尚、北区以外の方でも二十

三区区内にお住まいの方は対象となります。  
ご希望の方は予診票が必要となりますのでお近くの保健所や区役所にお問い合わせください。